

## アレックディクソン賞（2017年度受賞者）

### ◇ボランティア学習推進部門◇

#### 『中国ハンセン病回復村でのワークキャンプ活動』 原田遼太郎

原田遼太郎氏は、大学在学中から中国広東省の「ハンセン病回復村」でのワークキャンプに参加。大学卒業後は村での活動に専念するためにNGO『家-JIA』を設立。とくに中国の大学との連携を深めながら学生ボランティアによるワークキャンプ活動をつづけている。

これまでに参加した中国人学生は、15,000人を超えた。ハンセン病体験者のライフストーリーの聞き書きをはじめ、施設建設などの活動プログラムなどを開発し提供している。さらには、中国全土の大学を訪問し学生ワークキャンプ活動が広がるよう、普及啓発活動を行っている。中国広東省在住。

### ◇ボランティア学習研究部門◇

#### 『大学ボランティアセンターの使命と役割の研究』 高島弘行

高島弘行氏は、学生時代に東京・武蔵野市の亜細亜大学で学生によるボランティアセンターを創設したのをきっかけに、約20年間、NPO・ボランティア・市民活動の世界に関わる。特に学生のボランティア活動支援や大学ボランティアセンターのあり方に関心を持ち、若者のボランティアへの参加を通じた学び（ボランティア学習）について研究。

受賞論文『大学ボランティアセンターの使命と役割の研究』では、学生がボランティア活動を通して学ぶことを支援する大学ボランティアセンターの現状、機能、種類などについて整理し、センターの使命と役割を果たすために必要な視点や、学生が感じるボランティアの魅力とは何かを考察した。埼玉県在住。